

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年3月20日

事業所名 こばんはうすさくら 網島教室

保護者等数(児童数) 44 回収数 38 割合 86 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	33		3	2	実際に活動中の現場を見たことがない。			
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	31		1	6	配置数については適切だと思うが、どの指導員の方にどういう資格があって専門的な相談ができるかわからず困ることがある。	会社の研修や他教室との交換研修等を活用し、有資格者から支援方法を学ぶことで職員のスキルアップを図っていきます。		
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	32			6	お隣の保育園の様に階段上に木戸が欲しい。 見学に伺った際に教室を活動に応じて分けて区切っている様子でしたが、障害に応じてバリアフリー化等されているのかまでは分かりません。	2階に上がる際のエレベーター使用が難しいので、車いす等に関しては今後対応を考慮実施していきます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	34			4	出入り口のマットの汚れが気になります。ゴロゴロしている子、下からのぞき込んでいる子など。	マットは日常的に掃除を行い、定期的に業者による交換をしています。		
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	37			1	親の話を聞いていただいた上で計画を作成してもらっています。	アセスメントを適切に行い、保護者、利用者のニーズを分析し職員間で十分な話し合いをして作成し、支援計画について保護者に詳しく説明しています。		
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	36			2	家族支援、地域支援については選択されておらず、本人の発達支援に限られると認識している。ただ本人の発達支援を希望しており、その他支援が計画に含まれることを知らなかったで満足している。 ガイドラインがよく理解できていないため判断できませんでした。	内容を十分に検討し支援内容を設定しています。		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	38					連絡帳や送迎の時間を利用して個別プログラムでの様子を伝えるようにしています。		
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	35		2	1	毎月楽しいプログラムを考えてくださりありがとうございます。	毎月職員がプログラム案を持ち寄ることでマンネリ化しないようにしています。		
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	17		3	4	14			
保護者への説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	37		1			契約時に丁寧な説明を行い理解していただけるようにしています。		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	36		1	1	ガイドラインがよく理解できていないため判断できませんでした。	保護者に支援計画について説明し、了解を得るようにしています。		
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	14		6	3	15	独自に勉強していますが、同じ方向を向いて子どものサポートができるようになりたいので勉強会などがあると嬉しい。 プログラムという形はないですが、面談時にアドバイスをいただいています。	教室内で行っている支援内容について具体的に詳しくお伝えする等しています。	
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	33		5			日々連絡ノートで情報共有できますが、目標に向かってどうやっていくことをやっていると、どういふレベルになったら次はということをするのか、6か月ごとの計画作成時以外にも細かく知りたい。	連絡帳や送迎時の連絡、面談その他の機会を使い、共通理解を図っています。	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	31		5	2		自宅への送迎の際に相談できるのでありがたいが、仕方ないのですが子どものことを知らない先生が送迎担当だと話し聞かなくて困ることがある。 面談で子どもの様子を教えてくださいたいアドバイスをいただいています。	定期的な面談その他の機会を使い、利用者についての共通理解を図り支援を行っています。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10		4	10	14	利用2か月目で実施有無が不明。他の保護者と話せる機会があると嬉しい。	必要に応じて対応していけるよう検討、計画していきます。	
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	35		2	1			担当職員を決め、真摯に対応するよう心がけています。	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	37			1				
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	35		1	2		Instagramで活動の様子を見ることが出来るが親戚一同更新を楽しみにしています。	SNSを通してプログラムだけではなく普段の様子も発信していきます。	
19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	34			4			子どもが利用する曜日のレギュラー利用の子どもたちのお車での送迎だけでもお教室で良い。自宅で学習のコミュニケーションを取るのに「OO君と遊んだよ」と聞いてみた。	個人情報管理の徹底を職員全体に周知し、順守していきます。	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	34		1	3		子どもに対するトレーニングは実施されているが、各緊急時の対応マニュアルがあるのかは不明。	マニュアルを策定し担当者を決めています。情報をお便り等でお伝えしていますが、連絡帳も活用して広く知っていただけるよう対応していきます。	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	36			2		実際に災害があった場合にそのまま教室に滞在してほしい。	訓練の様子などを会報誌やSNSを利用し積極的に報告していきます。	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	32		6				とても楽しみにしております。 子どもは毎日通所して行くのを楽しみにしています。子どもはこばんはうすさくらが大好きです。温かい先生方に感謝しています。 こばんのお友達と余計な言い争い保育園のお友達とも遊びたい。でも保育園のイベントがある時はお休みしたい理由まで聞かせるようになりまし。 日曜日のプログラムを楽しんでいます。毎月リーダーの言葉を受けて明日はOOの日と楽しみにしています。 いつも大事に預かっていただき、分かりやすく過ごす環境を感えてくださって満足です。 本人も楽しんでおり、支援を受けて成長している様子が嬉しく感じられます。引き続きよろしくお願ひします。 午前中の利用時間をお弁当持ちで10時～13時半までや13時～15時半まで(保護者も参加)も実施されています。	環境設定や積極的に参加できるプログラムを立案し、楽しく通所していただけるよう努めています。
	23	事業所の支援に満足しているか	36		2				今後も皆様にご満足いただけるよう努めてまいります。	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月20日

事業所名 こばんはうすくら 網島教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3			
	2 職員の配置数は適切であるか	3		職員の欠員等により配置が薄いつきでも役割や担当を明確にすることで適切に支援を行っています。	もう少し職員がいた方が安心する日もある。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	1	活動の流れで行動しやすいよう動線を確保しています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3		余計な提供物を置かず、清潔を保っています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3		意識的に取り組んでいます。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3		いただいた指摘を職員で話し合い、改善内容を文章化して実践するように努めています。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3		ホームページに掲載しています。	開放やホームページ当を用いて結果をどのように確認できるか周知していきます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3		他教室との交流支援で新たな視点を生み出すことが出来ています。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3		定期的に内部研修を実施し、外部研修にも参加しています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3		カンファレンスを随時行い、計画を作成しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	3		担当を決め、担当は他の職員と相談し立案するようにしています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3		プログラム案を複数の職員に立案してもらい、多くの発案の中から選択しています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	3		必要に応じて活動内容を支援計画に反映させています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3		朝礼、昼礼を活用して毎日職員全体に確認、周知しています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		3	必ずとは言えませんが、帰りの送迎ルートを考慮し、時間を設定して職員間で共有できるように努め実施しています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3		業務日誌を活用し、検証および改善につながるよう記録をしています。	
関係機関や保護者との連携	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3		利用者の状況を把握し、必要に応じて面談を行って保護者との意思疎通を図り、見直しを行っています。	見直しの変更内容を職員全体に共有し、よりよい支援に繋げていきます。
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3		必要に応じて管理者、児発管や担当職員が参加しています。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係機関や関係機関と連携した支援を行っている	3			
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3		該当児童無し	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3		該当児童無し	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3			
26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3				

携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3			今後の状況に合わせて検討・実施していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	1	港北区自立支援協議会に参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3		送迎時や電話相談、面談開催など積極的に意思疎通を図るよう努めています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	3			
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3		契約時に丁寧に説明しています。それ以後の質問にも真摯に対応するよう努めています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3		支援計画について保護者に詳しく説明し、同意をいただいています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3		担当職員を決め、真摯に対応するよう心がけています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	1	コロナ禍が明けたので、今後対応検討していきます。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3		迅速、真摯に対応するよう心がけています。	
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3		会報誌を毎月発行しています。定期的にお便りも配布しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	3		職員に周知徹底しています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3		送迎時や連絡帳の活用を通して保護者との意思疎通が有効に行えるようにしています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3			
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3		年度初めにお便りを配布しています。	定期的なお便りなどを配布して周知していきます。職員全体にマニュアル研修等を行い周知していきます。
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3		定期的に災害に応じた訓練を行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3		契約時に服薬等について聞き取りを行い把握しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3		職員全体に周知するために、おやつや保管場所に大きく掲示し可視化しています。	食育プログラム前には職員間で必ず申し送り、周知を行っています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3		気になる案件については積極的に周知を行い、共有ファイルの活用や朝礼、星礼にて職員への報告を行っています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3		動画視聴や職員全体への研修を行っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3		必要に応じて契約時に丁寧に説明しています。	他害の可能性のある利用者については保護者に同意をいただいています。支援に入る前に利用者の前回までの様子を職員全体で周知し、変わった様子が見られた時は迅速に報告しあうようにしています。